

壁紙施工要領書

- ニューマックライン -

■ 特長

- ・ 50×50mm の方眼のラインが出るようにエンボス加工されていますので、掲示物をまっすぐきれいに貼れます。
- ・ バッキングは不織布裏になっています。
- ・ 変色、退色しにくく、耐久性にすぐれています。
- ・ 弾力性に富み、ピンホールの復元力が強く画鋲のあとが目立ちにくい商品です。

■ 下地調整

① 石膏ボード、ベニヤ合板下地の場合

- ・ ボードおよび合板の継目部分をパテ処理し、平滑にしてください。
- ・ 釘の頭が出ている場合は、下地面より沈めるよう金槌等で打ち込みます。

② モルタル下地の場合モルタル表面に付着している砂、ホコリ等を取り除き、シーラーで下地調整をして乾燥させてください。

■ 接着剤

- ・ 接着剤は、でん粉系の接着剤にエチレン酢ビ系ボンド（ヤヨイ化学工業製「プラゾール SS」等）を（石膏ボード、ベニヤ合板で約 30%、モルタルで約 40～50%）混合し、糊：水＝10：6～7 程度を目安にしてください。（水分の多い薄い糊の場合、壁紙が糊自体を吸い込んでしまい、接着力が低下します。）

■ オープンタイム

- ・ 接着剤を下地側に塗布する向こう糊施工になります。下地側へは均一に塗布してください。

■施工

- ・ジョイントは重ね裁ち（ダブルカット）での対応が充分可能ですが、厚みがあるため、材料に対しカッターの刃を少しねかせて角度をつけてカットし突きつける方法もジョイントの目立ちが少なく有効です。
- ・腰が強く自重のある材料なので、癖がつかず出入隅の納めにやや難点があります。納まりが悪い場合、エチレン酢ビ系ボンドを捨て糊での対応が有効です。（下地によっては四方回りをボンドのみで納めることも有効です。）

■その他

- ・S タックなどの両面テープ使用でも対応できます。